

令和8年度第1回学校運営協議会 開催要項

令和年4月30日(木) 13:30

下野市立国分寺小学校 多目的室

参加者 菅井委員 北原委員 近藤委員
生澤委員 阿久津委員 石島委員 上條委員
地域学校協働活動推進員 坪山推進員 海老原推進員
欠席者 上野(法)委員 工藤委員 上野(昌)委員

I 目的・方策

1 目的

学校と保護者、地域住民等と信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組むものとする。

2 具体策

- (1) 学校運営について意見を述べ、学校運営改善に参画する。
- (2) 学校関係者評価を行い、学校運営改善に参画する。

II 内容

1 開会 13:30~13:45

- (1) 任命書交付
- (2) 自己紹介

2 協議 13:45~14:50

- (1) 運営規程の確認(教頭)
資料(学校運営協議会運営規程)を基に説明
- (2) 令和8年度の活動計画について(教頭)
第2回 7月15日 5校時に授業参観
第3回 10月21日 給食試食 学校評価の実施について
第4回 2月17日 学校評価について
- (3) あいさつ及び令和8年度学校経営説明(校長)
令和8年度学校経営計画説明(校長)
資料(学校経営計画)を基に説明
 - ・教育理念「やさしき風が流れていのちが輝く」
 - ・めざす子供像 国分寺中学校地区で設定されている
 - ・重点項目
 - 身に付ける力を明確にした授業改善を図る
 - 『居がいのある』集団づくりとウェルビーイングの向上』
 - 危機を主体的に回避する能力の育成を図る。
 - ・今年度から小中一貫教育共創期となる。地域が一体となって地域学校協働活動を推進していく。
 - ・「目指す教職員像」を今年度から明示した。
 - ・校長室通信を通して、教職員に学校経営方針を伝えている。
 - ・これまでのいいところを継承しながら、さらに新たなことを実践していく。
- (4) 意見交換 進行:菅井
 - ① 学校経営の説明内容に関して
(校長) 昨年度の4回目の学校運営協議会で今年度の方向性をお示した。学校経営方針を盛り込み過ぎているので、少しスリム化しようと考えている。
(委員) 「危険を主体的に回避する」の中にある情報モラル教育は、担任が指導するのか、それとも外部の人が指導するのか。

- (校長) 発達段階に応じた指導が大切と考えている。指導は主に担任がしているが、5年生では外部講師を招いて「ネット社会の歩き方」を実施している。また、教職員も情報教育担当教員を中心に研修を実施している。情報モラルだけでなく、情報リテラシーを学んでいる。
- (委員) オーバードーズの社会的問題について考えさせていく機会もあるとよい。
- (校長) 毎年、「薬物乱用教室」を実施しており、今年度も実施予定である。
- (委員) 経営計画にある「カエル会議」とは何か。
- (校長) 昨年度、県の指定を受けて業務など様々なものを「かえる」ための会議を実施した。今年度は指定は受けていないが、継続して実施していく。
- (教頭) 教員の働き方改革などの課題もあるので、それらについても変えていきたい。
- (委員) 「たくましい子」、これが基本だと思う。今の子供たちは、難しくデリケート。まずは、元気でたくましくあってほしい。
- (校長) 本校は、学校規模を考えると欠席は少ない。しかし、GW明けが一つのポイントになるのでは。子供たちだけではなく、教職員も疲れがたまる時期である。教職員がお互いに協力して乗り越えていけるようにしたい。
- (委員) 習い事が多すぎて、子供たちがとても忙しそう。余裕がないように見える。学校がどうこう言える部分ではないだろうが、習い事をやらせすぎるのもどうなのかと思う。
- (校長) 子供たちにちょっとずついろいろな経験をさせたいと思っている保護者もいる。また、子供自身がいろいろやりたいと思っていることもあるので、難しい。
- (委員) 自分の子供は習い事一つずつしかやらせていないが、やはり子供がやりたいと思っていることはやらせてあげたいと思っている。たくさんの習い事をしていても、本当にやりたいことが見つかる徐々に絞られていくのでは。また、習い事が子供のやりがい、居場所になることもある。
- (校長) 月曜日は、一番元気がない子供が多い。月曜日の学校での声掛けは重要。
- (委員) 習い事も、場合によって「楽しい」ではなく結果に特化したチームもある。子供たちがそれで無理をしないことが望ましい。

承認

② 活動内容について

- (推進員) 地域学校協働活動について。資料が少し古いもので、名前が抜けている団体もある。今年度、国分寺本部スタート地域の団体や個人の方に参加していただき、学校支援を中心に活動していただく。菅井さんと工藤さんが学校と地域をつなぐコーディネーターに任命された。活動が活性化することで子供の顔見知りの大人が増えることが期待される。今現在30の団体個人の方(230人くらい)が活動に同調してくださった。
- (委員) スクール応援隊は国分寺地区がモデルとなっている。学校と地域のつなぎ役を担えるとよいと思っている。地域連携教員とも相談をしていきたい。最初は上手いかないところもあると思うが、統括コーディネーターとも相談の上、進めていきたい。
- (校長) 学校運営協議会の方のご意見で、人材のバンクをさらに広げていけるとよいと思っている。今年は回覧を活用し、地域に発信、ボランティアを募るなどしていきたい。
- (委員) 地域の人は回覧板をじっくり見ない傾向があり、あまり効果を期待できないのでは。
- (委員) 校長の作る学校便りは見出しの付け方が、とても分かりやすい。
- (校長) 文字が小さいと見にくいので、文字を大きくして月2回回覧するなど工夫している。
- (推進員) 子供たちとの関わりがあった後、この場でご意見を出していただく機会があるとよい。また、学校の困り感を出していただき、この場で解決に向け意見を

交換し、よい方向に向かうように委員の皆様にはご協力をお願いします。地域学校協働活動のマークを考え、バッジも作成した。名札にバッジを付けるなど、ボランティアの方には、これを付けて活動していただきたい。

③ その他

- (教頭) 子供たちの自転車走行や道路の歩き方などについて地域から苦情をいただくことがある。他にも何か、お気付きのことがあれば情報をいただきたい。
- (委員) 小学生ではないが、買ったものを外で食べてごみを置いていく学生がいる。
- (委員) 国分寺小学区は見守りの方が多し、子供たちもよく挨拶をする。止まってくれた車に振り返って挨拶もできる。素晴らしいと思っている。
- (委員) 自転車に乗る距離は決まっているのか。
- (校長) 1～3年は家の人と家の周り、4年以上は学区内が目安となっている。
- (教頭) 関根井など通学距離が長い地区では、スクールバスについて話は出ているか。
- (委員) 距離より夏の暑さを問題とする意見で、スクールバスを要望する声はある。
- (教頭) スクールバスは学校ではなく市の管轄なので、学校では対応が難しい。
- (委員) 祇園原辺りに家が増えているが。
- (校長) そのエリアは、祇園小になる予定(特例)。市役所周辺の開発を進めるという話も出ている。そちらは国分寺地区の学区になる予定。
- (委員) 小学校移転の話はないのか。
- (校長) 体育館や特別教室にエアコンを設置したので、しばらくはないと思われる。
- (委員) 南河内小中学校のような施設一体型も、決していいことばかりではない。個人的には、国分寺小区は小中学校施設分離型が望ましいと思う。
- (委員) 校舎は古いが、体育館などにエアコンが付いただけでも子供たちにはありがたい環境の変化といえる。
- (教頭) 意見書様式(P13～14)もあるので、何かありましたらそちらをご活用ください。

3 事務連絡 14:50～

次回は7月15日

4 閉会 14:55